

平成20年4月7日
独立行政法人
日本原子力研究開発機構
敦賀本部

高速増殖原型炉もんじゅ
1次冷却系ナトリウム漏えい検出器(CLD)に関する点検状況
(お知らせ)

高速増殖原型炉もんじゅの1次冷却系に設置されているナトリウム漏えい検出器(CLD；接触式ナトリウム漏えい検出器)に関し、4月5日から6日にかけて実施した点検状況を以下のとおりお知らせいたします。

1. 点検状況

3月26日に警報を発報したCLDと同様に斜めに取り付けられている1次冷却系のCLD22台のうち7台について、CLDを抜き出し、先端部及び挿入長さの確認を行いました。

その結果、同一角度で取り付けられている4台のCLDのうち3台の先端部に曲がり確認されました。また、角度の異なる18台のCLDのうち3台について確認した結果、1台の先端部に曲がり確認されました。

上記の点検結果を踏まえ、水平に取り付けられている2台のCLDも抜き出し、点検を行いましたが、異常は確認されませんでした。

なお、取り外し前の導通、絶縁測定結果は良好で、検出器としての性能は確保されていることを確認しています。

引き続き、CLDの点検を実施してまいります。

以上

CLD水平展開調査結果（平成20年4月6日時点）

CLD斜め挿入分

			調査結果			接触評価	備考	
No	対象弁	挿入角度	電極先端の状態	導通・絶縁 (取外前)	挿入長さ実測値 (設計参考値) 単位：mm	CLD先端から弁棒までの距離 単位：mm		
1	430	MV1	当該品と同角度	曲がりあり	○	82.5* ¹ (109.0)	33.0	シーラントが動く
2		MV2	当該品と同角度	曲がりあり	○	94.0 (83.0)	2.5	
3		MV4	当該品と同角度	曲がりあり	○	79.5 (67.0)	3.0	
4		MV5A	当該品と同角度	○	○	60.0 (67.0)	21.0	
5	140	MV12B	当該品と異なる角度	曲がりあり	○	65.0 (55.0)	-1.5	
6		V13B	当該品と異なる角度	○	○	55.5 (55.0)	8.5	
7	120	V20	当該品と異なる角度	○	○	54.5 (55.0)	9.5	

* 1：シーラントの位置が不明確なため、取り外し前のマーカを基準にした計算した値

CLD水平挿入分

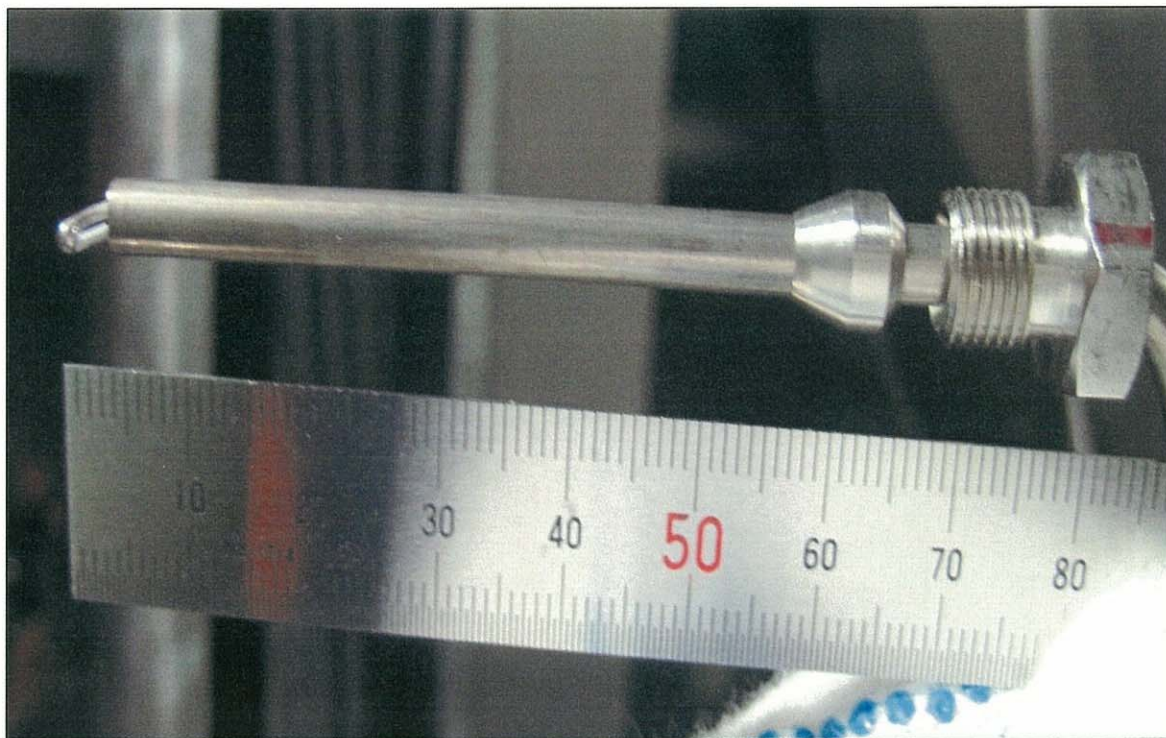
			調査結果			接触評価	備考	
No	対象弁	挿入角度	電極先端の状態	導通・絶縁 (取外前)	挿入長さ実測値 (設計参考値) 単位：mm	CLD先端から弁棒までの距離 単位：mm		
8	140	MV4B	—	○	○	178 (178)	評価中	
9		V10B	—	○	○	161 (161)	評価中	

本ページに記載の数値に一部誤りがありますので、平成20年4月14日に発表した「ナトリウム漏えい検出器の点検計画について」の報告書の添付資料-6(1/3)において、訂正しています。

参考URL http://www.jaea.go.jp/04/turuga/jturuga/press/2008/04/p080414_3.pdf

(平成20年4月21日追記)

430-XE301(430MV1)

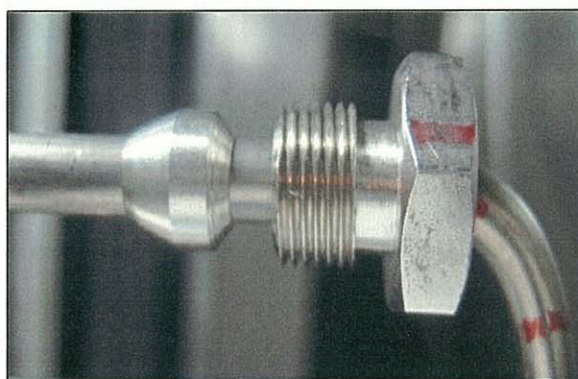


本体全景



CLD先端部(芯線)

(先端方向から見て4時方向に曲がりあり)



コンプレッションフィッティング
(シーラントのかしめが不十分のため固定されていない)

430-XE317A(430MV5A)



本体全景



CLD先端部(芯線)
(曲がり・変形等なく良好)